

### 第三章 鑛 産

大正三年七月歐洲戰亂ノ發生ニ因リ一時甚大ナル影響ヲ受ケタル我鑛業モ大正四年ニ入り金屬鑛物ニ於テハ輸出不能ニ陥リシモノ漸次取引ヲ見ルニ至リ更ニ軍需ノ増加ニ依リ市況頓ニ良好トナリ市價著シク昂騰ヲ呈シ延イテ此種鑛物ノ産額増加シ殊ニ亞鉛(二十五割七分)安質母尼(十一割六分)錫(二十五割三分)重石鑛(九割一分)水鉛鑛ニ於テ其著シキヲ示セリ其他金ハ一割六分弱ヲ、銀ハ五分五厘ヲ、銅ハ七分ヲ、鉛ハ四分四厘ヲ、鋼鐵ハ九分弱ヲ、滿俺鑛ハ五割二分弱ヲ増加シ金屬鑛物中減少セルハ銑鐵(一割二分強)及硫化鐵鑛(四割二分弱)ノミニシテ大體ニ於テ金屬鑛業ハ大ニ活況ヲ呈セリ然ルニ非金屬鑛物ニ於テハ燐鑛ヲ除クノ外市況不振ニシテ燐鑛ニ於テ五割一分弱、石油ニ於テ一割一分弱ヲ増加セシモ石炭ニ於テ八分一厘、硫黃ニ於テ二分六厘ヲ減セリ

鑛産價額ハ製鐵所ノ生産ヲ除キ一億七千五百九十五萬八千餘圓ニ上リ前年ニ比シ二千九十二萬八千餘圓(一割三分五厘)ノ増加ヲ示シタリ而シテ金屬鑛物ニ在リテハ前述ノ如ク市況概ネ良好ナリシト産額ノ増加ニ因リテ其總價額ハ九千七百九十四萬三千餘圓トナリテ前年ニ比スレハ三千五百七十三萬餘圓(五割七分四厘)ノ劇増ヲ呈セリ然ルニ非金屬鑛物ニ在リテハ燐鑛ノ外市況不振ヲ免レズ殊ニ本邦總鑛産價額ノ過半ヲ占メツ、アリシ石炭ノ不況ニ依リ千五百二十八萬餘圓ノ減少ヲ示セシ爲メ其總價額ハ七千八百一萬五千餘圓トナリ前年ニ比シ千四百八十萬千餘圓(一割四分二厘)ノ減少ヲ見ルニ至リタルニ因リ如上ノ結果トナリタルモノトス



大正四年地方別鑛產額表

(一)

鑛務 署名	府縣國名	金		砂		計		銀	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
札	後志	渡島	11,750	1,510	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		石狩	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
札	天北	北見	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		十勝	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
札	根室	釧路	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		千根	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
仙	宮城	仙台	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		青森	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
仙	秋田	秋田	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		山形	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
東	神奈川	神奈川	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		新潟	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
東	茨城	茨城	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		栃木	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
東	愛知	愛知	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		靜岡	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100

合	京	大	阪	福	岡	計	
						數量	價額
京	長岐	山梨	都府	京都府	京都府	1,100	1,100
						1,100	1,100
大	三奈	滋賀	石川	富山	島根	1,100	1,100
						1,100	1,100
大	廣島	和歌山	德島	香川	高松	1,100	1,100
						1,100	1,100
福	山口	岡山	大分	熊本	鹿兒島	1,100	1,100
						1,100	1,100
福	福岡	佐賀	熊本	鹿兒島	沖繩	1,100	1,100
						1,100	1,100
合	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
						1,100	1,100

















更ニ左ニ主ナル鑛物ニ就キ各主要鑛山及製鍊所ノ產出狀況ヲ掲ケ以テ其増減ノ狀勢ヲ示サン

主要鑛山產出狀況一斑

金

鑛山名	所在地	大正四年	大正三年	比較増減(△印ハ減)		備考
				數	割	
日 小 坂	茨城	八九三,二六五	七四,五四九	一六,七二六	二・三三	處理鑛量増加ノ爲メ
佐 井 串	秋田	一七六,八〇七	一三六,二九一	四三,五二六	三・二二	松岡鑛山ノ品位良好ナリシ爲メ
山 井 木	新瀉	一七〇,一九六	一四六,八六七	三三,三二九	一・五九	品位上昇ノ爲メ
釜 石	鹿兒島	一五五,一三三	九六,七三九	五七,七四四	五・九九	事業發展ノ爲メ
富 來	同	一〇九,三七三	一一二,四三三	△	〇・二八	金瓜石鑛石ノ取扱ヲ増加シタル爲メ
大 萱	石川	七六,四〇三	五八,三三八	二〇,〇六四	三・四三	
安 部	巖手	四四,一四五	四二,二九五	一,八五〇	〇・四四	
宮 城	青森	三三,〇五〇	三三,六三六	△	三・六七	處理鑛量増加ノ爲メ
芹 野	鹿兒島	三三,八四二	三三,〇五五	七七八六	一・三六	事業擴張處理鑛量増加ノ爲メ
漆 同	同	三〇,七九三	三三,五四一	△	五・三四	坑内擴張鑛量増加ノ爲メ
			七,八三三	三,九七〇	二九・三六	品位良好ノ爲メ

鑛山名	所在地	大正四年	大正三年	比較増減(△印ハ減)		備考
				數	割	
西 御 山	嶽城	二七,八六四	二七,〇九三	七九三	〇・二八	
大 嶽	宮城	二六,二八七	二六,五四〇	△	〇・一〇	
網 森	島根	二四,四九四	二四,四九九	△	〇・〇二	
大 取	巖手	二二,五九一	一四,二七三	七,三一九	五・一三	寶鑛ヲ減シタルト採鑛量増加ノ爲メ
生 口	鹿兒島	二〇,三九一	一九,三六六	八九一	〇・四六	
玖 野	兵庫	二〇,二七七	一八,七五一	四,〇三五	二・二五	處理鑛量減少ノ爲メ
帶 珠	大分	一四,七二六	一四,三九〇	三三六	一・〇三	買鑛量増加ノ爲メ
神 野	岡山	一四,三三三	一四,三三三	△	一・〇三	
足 岡	岐阜	一三,一六三	一三,三三三	△	一・一〇	產出ニ努メタル爲メ
國 尾	栃木	一〇,七七一	一四,三九三	△	一・四〇	西小澤坑設備ノ大部竣功セシ爲メ
鶯 巢	北海道	一〇,五二五	九,四六三	一,〇六二	一一・一一	品位ノ低下シタル爲メ
牛 尾	鹿兒島	八,四五六	三,〇三〇	五,四二六	一八・四	六月以後休業ノ爲メ
面 谷	福井	八,五四一	三,〇三〇	五,四二一	一八・四	坂東島支山ノ製鍊量増加ノ爲メ
幌 別	北海道	八,三四四	三,三三三	五,〇一一	六・四三	旭坑ノ採鑛減少及品位下降ノ爲メ
馬 上	大分	七,七三三	一,三三四	六,四〇一	八・二六	處理鑛量減少ノ爲メ
日 影	鹿兒島	六,六一八	七,九一三	△	一・六三	
太 良	同	六,五四三	六,四二九	一一四	〇・一八	

銀

鑛山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
日 立	茨城	一〇,六八,五九七	六,六八,九一七	三,九九,六八〇	處理鐵量増加ノ爲メ
小 坂	秋田	七,八〇,二七三	九,一三三,九七九	△一,三三三,七〇七	黒鐵及黄鐵量ノ減少セシ爲メ
足 尾	栃木	四,〇一七,九七三	三,六六六,九六三	一,三五一,〇一〇	産出ニ努メタル爲メ
神 岡	岐阜	二,四六四,九五九	二,三二一,八九四	一,一四三,〇六五	〇六六
安 部	青森	二,四五一,七四一	一,七五四,三九七	六七七,四四四	事業擴張處理鐵量増加ノ爲メ
生 野	兵庫	二,〇九五,九三二	一,八九五,五九三	一,一〇〇,三三九	處理鐵量増加ノ爲メ
佐 渡	新潟	一,五四一,〇六九	一,三八五,四八一	一,一五五,五八八	品位上昇ノ爲メ
三 井	鹿兒島	一,二九四,九三三	一,〇五八,八一四	二,二三六,〇九九	事業發展ノ爲メ
面 谷	福井	一,〇六〇,一三三	九,九六,三三三	六三,七五一	〇六四
大 森	福根	一,〇三〇,八二〇	九,九三,九三〇	三七,九〇〇	〇三八
加 納	福島	八六六,一六七	三八八,三三五	四七七,八四三	品位上昇ト採鐵量増加ノ爲メ
帶 江	福山	七二七,一四九	五六八,九三三	一五八,二一六	買鐵量増加ノ爲メ
釜 石	鹿兒島	六五四,四六四	四九七,一〇三	一五七,三六三	金瓜石鐵石及買鐵ノ増加セシタ

加 納	赤 石
五,七五五	五,七四一
二,七三〇	二,八九三
三,〇七五	二,八四九
一一三二	九八五

銅

鑛山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
國 富	北海道	五八三,四三六	五五四,一四八	二九,二九〇	〇五三
阿 岡	岡山	五三七,六八〇	五一四,八七三	三,八〇七	〇四四
高 田	宮城	四九八,三三〇	五〇〇,二四六	△一,九三六	〇〇四
八 盛	秋田	四三〇,〇三九	三五八,八五八	七二,九六〇	二,〇〇〇
笹 谷	山形	三三〇,四五六	三七三,〇五五	三,三五三,〇一六	八八六
永 松	福島	三〇六,三三四	三三〇,三九六	△四,〇六一	〇七六
八 莖	福島	二六七,九二〇	一六三,三九六	一〇四,五三四	六四〇
平 金	岐阜	二五八,五三四	二二七,三六一	二二,一七三	〇八五
尾 澤	秋田	二二三,三九四	二九二,五六八	△六九,一八四	二,三三六
山 野	鹿兒島	二〇四,六八四	二二七,一五九	△二二,四七五	〇五七
大 鳥	山形	二〇二,一一五	一八七,三三五	一四,七八〇	〇七九
日 市	秋田	一九四,八七五	二三四,〇一七	△三九,一四三	一六七
太 良	同	一四〇,五三〇	一三五,〇五四	五,四七六	〇四一
院 内	同	一一四,七七七	五七,九九三	五六,七八四	九七九
大 荒	鹿兒島	一〇〇,〇二八	一一一,〇三三	△一〇,〇〇五	〇九九

坑内整理採鐵量増加ノ爲メ  
 操業規模ノ舊狀ニ復セサルト且  
 ツ賣鐵セシタメ

選鐵、製鍊設備變更工事ノ爲メ

處理鐵量増加ノ爲メ

鍊鑛山所及名	府所在地	比較増減(△印ハ減)		備考
		數	割合	
立茨城	茨城	一七,七三三,六四九	二,八九〇,七六七	處理鐵量増加ノ爲メ
尾柄木	栃木	一八,〇一九,一九四	一,五九六,四一六	産出ニ努メタル爲メ
坂秋田	秋田	一三,一七六,三三四	二,三三三,五三九	〇・一八
子愛媛	愛媛	一三,一四三,九四六	五三三,一〇六	〇・四一
野兵庫	兵庫	四,〇九二,〇六八	八五三,〇〇〇	二・六三
城青森	青森	四,〇四七,一三六	一,〇六六,〇三〇	三・五八
澤秋田	秋田	三,二四六,二〇五	三五八,六八二	〇・九九
屋石川	石川	二,七四七,〇七八	二三五,四二六	〇・九四
江岡山	岡山	二,六九三,一六六	三〇三,三三四	一・三一
石巖手	巖手	二,三六二,九三五	三八四,八八八	一・九五
仁秋田	秋田	二,三三〇,五九一	九三,三三八	〇・三六
富北海道	北海道	一,八五三,五一五	一八九,九六三	一・二四
峯宮崎	宮崎	一,七六三,六四一	八二,五九九	〇・四九
莖福島	福島	一,五九五,〇五四	一〇五,九五三	〇・六二
平宮崎	宮崎	一,四三七,九三九	一一〇,八八三	〇・九二
川秋田	秋田	一,三四二,四四四	二二五,五八八	一・三九
寺石川	石川	一,三三三,九八七	五三,一二三	〇・三八
遊荒日	日			
八				
橫國				
阿釜				
釜				
帶尾				
尾尾				
安生				
生別				
別小				
小足				
足日				

鍊鑛山所及名	府所在地	比較増減(△印ハ減)		備考
		數	割合	
立茨城	茨城	一三,〇五六,三六一	二,三七四,四三三	二・三三
尾柄木	栃木	一九,六五五,六一〇	二,三五八,三三四	一・三三
坂秋田	秋田	一三,四〇八,七六三	二,三三三,五三九	〇・一八
子愛媛	愛媛	一三,一四三,九四六	五三三,一〇六	〇・四一
野兵庫	兵庫	四,〇九二,〇六八	八五三,〇〇〇	二・六三
城青森	青森	四,〇四七,一三六	一,〇六六,〇三〇	三・五八
澤秋田	秋田	三,二四六,二〇五	三五八,六八二	〇・九九
屋石川	石川	二,七四七,〇七八	二三五,四二六	〇・九四
江岡山	岡山	二,六九三,一六六	三〇三,三三四	一・三一
石巖手	巖手	二,三六二,九三五	三八四,八八八	一・九五
仁秋田	秋田	二,三三〇,五九一	九三,三三八	〇・三六
富北海道	北海道	一,八五三,五一五	一八九,九六三	一・二四
峯宮崎	宮崎	一,七六三,六四一	八二,五九九	〇・四九
莖福島	福島	一,五九五,〇五四	一〇五,九五三	〇・六二
平宮崎	宮崎	一,四三七,九三九	一一〇,八八三	〇・九二
川秋田	秋田	一,三四二,四四四	二二五,五八八	一・三九
寺石川	石川	一,三三三,九八七	五三,一二三	〇・三八
遊荒日	日			
八				
橫國				
阿釜				
釜				
帶尾				
尾尾				
安生				
生別				
別小				
小足				
足日				
日				
大				
大				
吉				
木				
白				
日				
大				
面				
持				
笹				
平				
加				
大				
綱				
幌				
寶				
水				
鶯				
松				
澤				
藏				
岡				
澤				
瀧				
市				
森				
谷				
谷				
倉				
谷				
金				
納				
鳥				
取				
別				
山				
澤				
同				
巢				

卯根	倉巖手	二六,八一四	九八,四九九	一六三,三二五	一六六	坑況良好採鐵量增加ノ爲メ
長川	坂高知	二七,九二一	一〇六,八八七	一三二,〇三四	二二六	事業發展ノ爲メ
飯盛	山和歌山	一七,三〇六	二六〇,五八〇	八三,三三三	三二五	時々製鍊休止ノ爲メ
松川	巖手	一七,〇七二	一四〇,六九九	三〇,三七二	二二七	沈澱銅量增加ノ爲メ
吉原	福岡	一三七,六三〇	一七三,二七四	三四五,〇〇〇	二〇〇	處理鐵量減少ノ爲メ
長登	山口	一三七,五七六	一五七,九一〇	二〇,二九〇	一三八	處理鐵量減少ノ爲メ
高根	岐阜	一三五,五九七	三六三,六四三	一三五,〇六六	五二四	處理鐵量減少ノ爲メ
於福	山口	一七,七一九	八四,七六四	四〇,八三三	四八三	事業發展ノ爲メ
田中	鹿兒島	一一,六三四	一〇〇,二四五	一七,四七四	一七四	製鍊休止ノ爲メ
八盛	秋田	一〇四,六〇六	二九〇,三八五	一七八,七六一	六二六	製鍊休止ノ爲メ
藥寺	山口	一〇四,四六六	二六三,三三八	一五七,七三二	六〇一	操業規模ノ舊狀ニ復セサル爲メ
鈴木	岡山	一〇四,四六六	一八九,九五〇	八五,四八四	四五〇	事業縮少ノ爲メ
佐島	愛媛	三三,〇四七	二,九〇一,六六九	三〇三,八〇八	一〇四	
關曹	東京	二,一八九,三八九	二,〇三四,一五〇	一六五,三三九	〇八三	
關東	東京	一九六,九九八	一四九,六一七	四九〇,八二〇	三三八	
日比	岡山	一四三,五五七	一四九,七五九	五三,三六三	〇三五	
契比	岡山	一三五,一三二	七〇〇,八〇七	六五〇,五一四	九三八	
小串	岡山	一一,二五八五六	八三八,三三七	二八七,六一九	三四三	
大島	福井	四六,六六七	三九四,三〇九	七三,三五八	一八四	

鉛

神岡	岐阜	大正四年	五三,九五一	五二,三五六	二二,五七	〇・四二	備考
高田	宮城	大正三年	一,二八,三五五	一,〇四,八四四	九三,五二	〇・八九	備考
太良	秋田	大正四年	七三,四九八	七三,五四七	四〇,〇四九	〇・五三	備考
小坂	同田	大正三年	三六,一五七	一六,四五〇	三六,一五七	〇・六三	備考
面谷	福井	大正四年	二二,三四四	一六,四五〇	一三,七八四	〇・六三	備考

錫

生野	兵庫	大正四年	五五,七七	一三四,四九三	三九,一三四	三・四三	備考
錫山	鹿兒島	大正三年	四,〇四五	二六,三三九	一三,八〇六	五・二五	製鍊事業發展ノ爲メ

安質母尼

鑛山製	所在地	大正四年	二二〇,五三〇	二二〇,五三〇	二二〇,五三〇	二二〇,五三〇	備考
鑛山製	所在地	大正三年	二二〇,五三〇	二二〇,五三〇	二二〇,五三〇	二二〇,五三〇	備考

山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
藤小川	高知	八二,四三五	三三,〇三一	五九,四〇四	三五八三
西野	大坂	三,四一四,〇三三	二,四六五,九九九	九四八,〇四三	三八四
中野	同	二,五〇五,九三三	三〇,四八〇	二,四七五,四五二	
中野	同	二,五〇五,三三三	三〇,一六九〇	二,三〇三,五三三	七三〇
島吉	同	三,一九七,四〇〇	一,八五一,〇〇〇	三,四六六,四〇〇	一八七
根田	同	一,〇三四,五三三	一,三四七,六〇〇	三三三,〇六九	一七九
池上	同	六〇〇,一〇〇	五二〇,〇〇〇	九〇,一〇〇	一七七
野上	同	六〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇	
根田	同	四三六,九九四	四三六,九九四	四三六,九九四	
櫻川	同	二七七,三七七	二七七,三七七	二七七,三七七	

亞鉛

山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
神岡	岐阜	八,七八,四〇五斤	四,九〇七,四一四斤	三,八七〇,九九二斤	七八九
亞細亞	兵庫	一,三四九,六五七	三,〇三九,七七四	一,七五七,三三五	三六,三四
大坂	同	七,一六三,〇五四	二〇,一〇八	一七,五七三,三五	
安治	同	一,二〇九,九六九	一,七六六,七四五	三,八八四,一六〇	
神戶	同	五〇一,三〇八	三三,六〇〇		
株會	同	一,〇〇八,六四〇			事業擴張ノ爲メ
高千穂	山口	三,九一七,七六〇			

亞鉛

山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
神岡	岐阜	一三,八六三	六,五六四	七,二七九	二〇五
高田	宮城	三,三五九	二,四六六	七九三	三三三
太田	秋田	三,三三五	三,五九三	三六八	一〇三
松岡	同	一,九四五	一,九四五	一,九四五	
秋津	同	一,二七三	六三六	一〇〇〇	
加納	同	四九七	四〇五	九二	二二七
山加	同	四八五	九一	三九四	四三三〇

鐵

山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
釜山	岩手	二八,二九九 <small>佛</small>	四,八〇一 <small>佛</small>	一三,五〇三 <small>佛</small>	三三三
仙臺	同	一六,三二八	一四,〇四四	二,二七四	一六三
栗木	同	二,八四九	二,六五七	一九三	〇七三
同	同	二,一九六	一,九四八	二四八	一三七

製鐵所	輪西製鐵所	北海道	同
製鐵所	製鐵所	製鐵所	製鐵所
福岡	福岡	福岡	福岡
二七,七五	二七,七五	二七,七五	二七,七五
二六,七三	二六,七三	二六,七三	二六,七三
三五,〇六	三五,〇六	三五,〇六	三五,〇六
二七,〇三	二七,〇三	二七,〇三	二七,〇三
一〇,八	一〇,八	一〇,八	一〇,八
一五,七	一五,七	一五,七	一五,七

硫化鐵及含銅硫化鐵

鑛山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
久根	靜岡縣	二六,五七二,八〇四	二六,三四一,九六八	△ 三三〇,八三六	〇・二三
大瀬	愛媛縣	一四,七六七,二七〇	八,七二八,四五三	△ 六,〇四八,八一七	六八七 事業擴張ノ爲メ
飯盛	和歌山縣	六,八六六,七三三	一〇,五五五,九五五	△ 三,六八八,二二三	三四八 市況不長ノ爲メ生産制限
東山	德島縣	四,八二九,二九〇	七,三九六,六〇三	△ 二,五六七,三一二	三四七 全
寶山	山梨縣	三,八二五,九八〇	五,九三六,三七三	△ 二,一一〇,三九三	三五七 全
柵原	岡山縣	三,八二二,四六〇	五,八三三,八〇〇	△ 二,〇一一,三四〇	三四六 全
千原	愛媛縣	一,六四五,七五四	一,四一〇,八一	△ 二,二四五,九四三	一六七
久木	岡山縣	一,二六六,五三〇	二,九三八,四五〇	△ 一,六七二,九二〇	五八三 市況不長ノ爲メ生産制限
忠城	愛媛縣	一,一〇一,七二三	一,四〇四,五九七	△ 三〇三,八八四	二二六 續況不長ノ爲メ
中西	德島縣	九七二,〇六四	六八四,五四五	△ 二八七,五一九	四二〇
九町	愛媛縣	九四四,三三八	二,四四〇,〇三三	△ 一,五九六,六九五	六二二 一時事業ヲ中止セシ爲メ

滿 庵 鑛

鑛山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
岩崎	青森縣	九五七,八三三	一,〇六一,九三〇	△ 一〇四,〇九六	〇・九八
唐澤	長野縣	五〇一,七九三	四三三,四二七	△ 七六,三六五	一・八五
湯澤	青森縣	四八八,三四八	三三〇,〇七〇	△ 一五八,二七八	一・二九
下拂	大分縣	三三八,三三〇	二九二,三六六	△ 四六,九六四	〇・八七
濱川	長野縣	二六六,七七〇	二九二,三六六	△ 二六,〇八五	〇・八七
松前	愛媛縣	二四一,七七六	三五七,〇六〇	△ 一一五,二八四	三・三三
美加	後志	一九一,九三三	四〇,〇〇〇	△ 一五一,九三三	三七九八
松島	大分縣	一八九,九〇〇	一八,一〇〇	△ 一七一,八〇〇	一四九二
鏡後	後志	一七八,九八二	七,八三八	△ 一七一,一四四	
初音	後志				

重 石 鑛

鑛山名	所在地	大正四年	大正三年	比較增減 (△印ハ減)	備考
喜和	山口縣	四一,六七三	一一,九一八	△ 二九,七五五	三四七 選鑛設備完成ノ爲メ
高取	茨城縣	二五,六六六	一九,〇六八	△ 六,六〇〇	

重 惠 玖	比 珂	徳 山 口	岐 阜	山 口
一四、二八	一〇、五三五	三、二四	一〇、三四五	六、四八八
七、七三〇	二八〇	三、一三四		
一一、九一	〇、二七			

水鉛鑛

鑛 山 名	所在地	大正四年	大正三年	比較増減 (△印ハ減)	備 考
小 黒 部	富 山	二、七四		二、七四	

燐 鑛

鑛 山 名	所在地	大正四年	大正三年	比較増減 (△印ハ減)	備 考
ラ サ 島	沖 繩	一三、七六、〇五七	九、五八、五九三	四、一八〇、二四五	
半 浦	石 川	七四、八七五	七六、一三〇	六、七四五	
多 木	同	六五、〇九〇	三九、七〇五	二八、三八五	
火 谷	東 京	一九、九三三	一四、三八四	三、八九三	
南 島	同			一、六六	

石 炭

鑛 山 名	所在地	大正四年	大正三年	比較増減 (△印ハ減)	備 考
三 夕 池	福 岡	一、七五、七九三	二、〇一、〇四六	二七五、二五三	
夕 張 川	北 海 道	九三、九四一	六九、九五三	二四、一八八	
三 井 田	福 岡	九〇、八七六	九八、三五六	四四、一五	
大 浦	同	六七、五〇三	七九、一七九	一一、三七六	
二 瀬	同	六二、五〇六	五九、四三五	一、〇七一	
入 山	福 岡	五〇、七六九	五三、六八三	三、九一三	
峰 地	福 岡	四九、四一三	六三、五二八	一六、一三五	
芳 谷	佐 賀	四九、四七二	五五、五五〇	四三、〇七九	
豊 國	福 岡	四八、四七一	四九、五七六	一〇、七九五	
明 治	同	四四、九七三	四九、七〇七	五、七三五	
内 郷	福 岡	四一、三七五	三七、一九九	三、一七六	
新 入 田	福 岡	四〇、七五〇	四六、七五〇	六、三三四	
忠 入	同	三九、五六三	四二、六六五	二、一〇三	
目 頭	同	三八、八四三	四〇、八五五	二、〇一三	
野 尾	同	三八、八七三	四〇、三七六	二、〇五〇	
三 井 山	同	三三、一九六	四〇、九八三	七、七八六	

第二斜坑ノ復舊、二見澤坑ノ發  
展及探炭方法改善等ノ爲メ

施設ノ改善ト三星級坑ヲ合併シ  
タル爲メ



産地	大正四年	大正三年	比較増減 (△印ハ減)	備考
大松	五八,七九〇	五五,六三一	△三,一五九	〇・五七
高松	六三,〇三六	六五,九三三	△二,八九七	〇・五九
新高	六三,〇一五	五八,四三八	△四,五六七	〇・七九
龜岡	六三,三五二	七〇,一八三	△六,八三一	〇・九九
福松	六四,七六七	六六,三三九	△一,五六二	〇・四四
高水	六五,五三二	六八,三三九	△二,八〇七	〇・四〇
泉隈	六八,九〇七	七四,八八一	△五,九七四	一・二八
大津	六九,三六八	四九,〇二七	△二〇,三四一	五・三七
新正	七三,二七五	一六,〇三〇	△五七,二四五	三三・二七
旭手	七六,一六一	七七,七六六	△一,六五五	〇・八八
三好	八〇,一三二	一三六,八九一	△五〇,七〇〇	四・〇〇
杵島	八五,八六四	七八,七九六	△一七,〇六八	〇・一七
姪濱	八八,七六八	六〇,四三七	△二八,三四一	四・二二
大張	八九,一七四	九三,六四四	△四,四七〇	〇・四八
幾別	九〇,九一八	七九,三二二	△一一,五九六	一・四七
奔別	九三,〇〇六	一〇〇,四〇八	△七,四〇二	〇・八四

石油

産地	大正四年	大正三年	比較増減 (△印ハ減)	備考
隅田	五八,四一〇	六五,三二二	△六,九一二	一・〇五
川美	五六,〇四五	四八,九五八	△七,〇八七	一・四五
原佐	五四,二五三	七二,一八三	△一六,九三〇	二・三八
福岡	五四,〇三五	六五,〇九〇	△一一,〇五五	一・七〇
茨城	五三,九四三	四一,七九〇	△一二,一五三	二・九一
福島	五三,九一〇	一六,二九三	△三六,六一七	三・五三

事業發展ノ爲メ

産地	大正四年	大正三年	比較増減 (△印ハ減)	備考
新津	四五,九八二	四九,一七五	△三,一九三	〇・一八
朝日	一三,三九〇	九三,一〇七	△七九,七一七	三・一五
金津	一一,一一五	一〇七,四九〇	△九六,三七五	〇・三四
新木	五,四五六	五九,一九〇	△五四,四三四	一・三二
柄木	六,三七八	八,三四四	△一,九六六	二・一六
小瀬	五,二二五	一,六六六	△三,五五九	自然減退
東山	一五,七四六	一七,七八〇	△二,〇三四	二・〇七
浦瀨	二四,七二四	二六,三九九	△一,六七五	〇・八三
西山	四四,五九一	四三,六六五	△九,九二六	〇・四六

深堀井成功ノ爲メ

自然減退

石	豐	旭	黑	七	牧	牧	鎌	西
狩	川	川	川	市			田	山
石狩郡	同	同	南秋田郡	三島郡	同	東頸城郡	同	新羽郡
七,九五二	六,四五六	一四,二七〇	八六,一一〇	九〇,四三三	一三,四三五	一四,四八三	一一,四五〇	二四,五〇三
五,〇一七	四,三四三	一七,一四三	五九,九〇五	一一,一〇五	一五,九七七	一七,〇三七	一七,〇三七	二七,一八六
二,九三五	二,一一六	三,八七三	二六,七一〇	一,三三〇	一,四九五	五,五八七	二六,一六六	〇,九六
四八八	一六八	四四四	二二八	一,一〇	〇,九四	三,二八	自然減退	自然減退
五八五	四八八	一六八	四四四	一,一〇	〇,九四	三,二八	自然減退	自然減退
			新井増加ノ爲メ					

硫 黃

松	岩	三	沼	幌	奥
尾	登	井	尻	別	尻
巖手	同	北海道	福島	同	北海道
六,三五〇,七三六	一三,六九一,一七	一四,一八,七〇三	一四,六三,一〇〇	一七,〇二七,八三六	三三,五〇,八一九
二,九四八,〇四	一六,二〇五,〇八	一五,六九四,七五	一八,三三,九〇〇	一八,二八三,九四三	一七,四四三,九一八
三,三五五,九三三	二,五二五,九〇一	一,五六六,〇五三	三,六一〇,八〇〇	一,三五六,一〇六	六,〇八七,九〇一
二,一一一	一,五五	一,〇〇	一,九八	〇,六九	三,四八
事業擴張ノ爲メ	天候上操業ニ支障ヲ生シタル爲メ	續量減少ノ爲メ	坑内火災ノ爲メ	生産ヲ制限シタル爲メ	前年下期ヨリ製錬第六基増設ノ爲メ

硫	鳥	鶯	大	鹿	熊	九	米	松	赤
島	澤	澤	妻	部	泊	山	子	倉	倉
鹿兒島	宮城	巖手	福島	同	北海道	大分	長野	北海道	秋田
一,〇八九,二六五	一,三三九,二四〇	一,四三七,〇九〇	一,五八五,五八〇	一,六一六,一一三	二,三三七,一三九	二,五〇〇,七〇〇	三,三九五,七〇〇	三,三三三,七四	四,九一九,二〇〇
一,一六三,九四〇	一,九七五,八九五	一,五六一,四〇〇	一,九五三,一三〇	二,一七四,六〇	四,五九四,八三	二,六四三,一四四	四,三六八,五〇〇	一,三七〇,二六一	四,五四〇,〇〇〇
七四,六七五	七三六,六五五	一一三,三二〇	三六六,五四〇	五〇一,三三八	二,二九三,三四三	一四三,四四四	九七三,八〇〇	二,二六二,五〇三	三七九,二〇〇
〇,六四	三七三	〇,七三	一八八	二,三七	五〇五	〇,五四	二,四一	一六五	〇,五五
坑況不真ナリシ爲メ			噴煙減少ノ爲メ	生産ヲ制限シタル爲メ	生産ヲ制限シタル爲メ		製錬第六大修繕ヲ加ヘ一時製錬ヲ休止セシメシ爲メ	坑内ノ良好ト製錬第六基増設ノ爲メ	

尙ホ大正四年中ニ於ケル各種鑛物ノ產出狀況ヲ詳カニシ且各鑛山ノ產額ヲ知ルノ便ニ供スル爲メ  
左記ノ產額アルモノヲ附表第二乃至第五表ニ列擧シタリ

金 三貫以上 (鑛石ナルトキハ其品位ニ依リ換算シ之ニ該當スルモノ)

銀 五十貫以上 (同)

銅 五萬斤以上 (同)

亞鉛鑛 五百佛噸以上

滿俺鑛 十萬貫以上

石炭 一萬佛噸以上

亞炭 三千佛噸以上  
石油 五千石以上  
硫黃 五十萬斤以上

黑鉛及燐礦 礦産價額三千圓以上  
右以外ノ礦物 同 一萬圓以上

二種以上ノ礦産物アルモノニシテ其主産物前記ノ標準ニ達セサルモ合算シテ礦産價額一萬圓以上アルモノ但シ銅ヲ主産トスルモノニ付テハ一萬五千圓以上

又「ミネラルインダストリー」ニ依ル世界ニ於ケル礦産額ハ左ノ如シ

世界ノ金産出額

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
トランスバール	七五三,六八〇 <small>オンス</small>	八〇三,〇四三 <small>オンス</small>	九一三,一五五 <small>オンス</small>	八七九,八二四 <small>オンス</small>	八三七,八一三 <small>オンス</small>
北米合衆國	四六七,〇一七	四六七,〇五三	四四七,五六一	四二九,七六四	四四九,三三六
濠太利亞	三,〇八,〇六五	二,八七七,三九五	二,六三六,三九一	二,五五三,三七七	二,四一四,六七四
露西亞	一,七二六,七三三	一,四六五,六九三	一,三九五,八八三	一,〇七三,九七三	一,二九四,六六三
墨西哥	一,〇九三,〇五三	一,四二二,四八三	一,〇九六,〇五八	八二三,〇八三	八七九,七〇七
ローデシア	六〇九,九五六	六二八,五三一	六四三,八〇七	六八九,九五四	八五四,四八〇

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
加 奈 太	四九三,七五二	四七三,三〇二	六二一,八八五	八〇三,九七三	七七〇,三三四
英 領 印 度	五八,〇一〇	五三,六三二	五三,四七六	五三,九五〇	五九,四一九
日 本 (臺灣, 朝鮮, 含ム)	三三,三四三	三三,七,四三三	三三,八一,一九三	三九,〇三二	四三,〇,七四四
亞非利加西海岸	一七,七五〇	二五,九六八	三三,〇四五	三九,六六九	四九,五〇〇
英領東印度	一六,八五三	一六,八五三	一六,〇七五〇	一六,三八〇	二六,八七九
支 那	一七,九六〇	一六,〇,三四四	一六,〇,七五〇	一七,六,五三六	一七,五,三六〇
中央亞米利加	一三,二八七	一五,四五七	一七,五,〇〇〇	一四,六,六〇八	一〇,九,三六
ブラジル	九四,五六六	一〇,九,九四九	二九,四九七	一七,二,七〇〇	一三〇,九,三六
コロンビア	一六三,〇三八	一五三,三四一	一六〇,七五〇	一四三,七六八	九一,九二二
埃太利, 匈牙利	一〇三,五六三	一〇九,二七八	九,三三三	一〇三,二六九	
獨 逸	一四,六九七	一五,九六三	一六,〇,七五〇	四八,一,六九五	一三,八,一九三
其 他	四六,七四七	四八,七,五八五	五三,五七三	二,九三,七〇〇	
合 計	二,七九,八四七	二,三三,七,三三五	三,三〇,九,二五七	三,九三,七〇〇	

世界ノ銀産出額

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
北米合衆國	五七,三七九 <small>オンス</small>	六〇,三九九 <small>オンス</small>	六三,三九九 <small>オンス</small>	六六,八〇一 <small>オンス</small>	六七,九二九 <small>オンス</small>
墨西哥	六,四三,三八一	八七,〇七八,七四四	八三,五〇六,九三三	四九,四三六,一〇三	六七,九二九 <small>オンス</small>
加 奈 太	三,八六九,三三四	三三,五九九,〇四四	三三,九二二,七〇〇	三二,八四三,八〇三	二七,五四四,三三二

國別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
濠太利亞	一六〇,三五,一八八	一七〇,九六,五〇〇	一六二,二二,〇五四	一八八,五四,八七〇	
獨逸	一三五,〇三,三九〇	一四一,三三,八〇五	一四一,四六,〇〇〇	一七三,九三,四八五	
秘露	八,一三〇,一四三	九,三〇三,六六三	九,三三三,五〇〇	八一,六四,一七一	
白耳義	八,五〇八,八四三	八,一三九,九四八	九,〇〇〇,八七五	八一,六四,一七一	
日本 (臺灣、朝鮮、哈爾濱)	四,六一,一三〇	四,四九七,六六八	四,九三〇,二三五	四,七五四,八一九	四,九三五,六八九
西班牙	四,一五三,四八八	三,五三九,一三六	四,一七九,五〇〇		
波利亞	四,五九七,五五〇	四,一一一,九八五	三,九八四,六三九		
埃太利	一,五九七,六三三	一,六六五,三四五	一,六〇七,五〇〇	一,七五〇,〇五三	
中央亞米利加	二,〇三六,八八五	一,三二一,七四七	一,七三三,二四三		
佛蘭西	一,七〇三,六〇〇	一,一五九,九五六	一,四四六,七五〇	一,五二一,〇五〇	
亞弗利加	一,〇七六,六〇〇	一,〇六四,〇五〇	一,一三五,二五〇		
其他	五,九一五,八九九	七,九三六,二六五	六,九四九,四九七	一,四六三,九八〇	
合計	二四〇,三六〇,八九三	二五三,八三四,四二六	二五二,三四六,五〇八		

世界ノ銅產出額

國別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
北美合衆國	四九三,七二〇	四九一,六三四	五六三,三六〇	五五七,三六七	五三三,五三九
日本 (臺灣)	四九,七三三	五四,三三五	六三,八九三	六八,〇四九	七二,六九一
智利	三八,三四六	三三,〇八八	三九,二〇四	四〇,八九五	四〇,八七六

國別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
濠太利亞	四〇,九六三	四三,五二三	四七,七七四	四七,三三六	三七,五九三
西班牙葡萄牙	五,〇八〇	五,七四八	五,九八七六	五,四六六	三七,〇九九
墨西哥	六二,五〇四	六,八八四	七三,六一七	五二,八八五	三六,三三七
加奈太	三三,八一〇	二五,五七〇	三三,四二二	三三,五八七	三三,〇二七
露亞	三三,六七〇	二五,七四七	三三,五五〇	四二,九七〇	三一,九三六
獨逸	二五,一〇五	二二,三六三	二四,三〇四	二五,三〇九	三〇,四八〇
秘露	二七,三七五	二八,五〇〇	二六,四八三	二五,七二五	三三,六四七
喜望峰及亞利加	八,四三三	九,五七六	一一,一五六	一七,〇五九	一八,六八三
以外之亞利加	一〇,五九三	一七,三三三	一六,六三三	一七,三九三	一八,六八三
喜望峰及ナマカ	七〇一六	一七,三三三	一六,六三三	一七,三九三	一八,六八三
其他	一六,一七六	一七,五七四	一八,七五六	一四,八八三	一四,七二四
合計	八七六,五六三	八八一,七六三	一,〇一二,七二八	一,〇〇一,二三八	九〇八,〇六五

世界ノ鉛產出額

國別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
北美合衆國	二六九,一八四	二八六,五二六	三三八,八〇六	三四六,六七六	
獨逸	二五二,〇四六	二七六,〇〇八	二九八,七九四	三一一,九一四	
白耳義	一九〇,三三三	二一五,〇五〇	二三〇,六七八	二二七,九四一	
佛蘭西、西班牙	六五,一九一	七〇,七七一	七九,五四三	七八,三九三	

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
英 吉 利	六九,五三一	七三,八〇三	六三,〇六六	六五,三〇一	三三,三三三
和 蘭	三三,三二二	三五,〇五九	二六,三六〇	三六,八一三	一四,三八九
奧 太 利、伊 太 利	一四,六六六	一八,六〇三	二一,六〇九	三三,八五六	九,〇〇五
諾 威		七,三六三	八,九五九	一九,〇四〇	一四,三八九
日 本	九,五一四	一〇,九五三	九,六五九	九,五三〇	五,九一三
波 蘭					
濠 太 利 亞	五〇	一,九〇四	二,五三二	四,一〇五	
合 計					

世界ノ銑鐵產出額

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
北 米 合 衆 國	二七,六六六,六八七	二四,〇二七,九四〇	三〇,三〇二,五六八	三〇,九六六,三〇一	三三,三三三,三三四
獨 逸	一四,七九三,三三五	一五,二八〇,五二七	一七,八五三,五七二	一九,二九一,九三〇	一四,三八九,五四七
英 吉 利	一〇,三八〇,七三三	九,七二八,六三八	八,七五一,四六四	一〇,四八一,九一七	九,〇〇五,八九八
佛 蘭 西	四,〇三三,四五九	四,四二六,四六九	四,八七一,九九三	五,三二一,三二六	四,二七〇,〇〇〇
露 西 亞	三,〇四二,〇四六	三,五三一,〇〇〇	四,一九七,六三八	四,五四七,〇〇〇	
白 耳 義	一,八五三,〇九〇	二,〇四六,三八〇	三,三〇一,二九〇	二,四八四,六九〇	
奧 太 利、匈 牙 利	二,〇一〇,〇〇〇	二,〇九五,〇〇〇	二,三二二,六八九	一,七五七,八六四	
加 太 利	七五三,〇九〇	九一七,五三五	一,〇一四,五八七	一,二三八,九六七	七八三,一六四

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
瑞 典	六〇四,三〇〇	六三三,八〇〇	七〇一,九〇〇	七三三,〇〇〇	六五五,一〇〇
西 班 牙	三六七,〇〇〇	四〇八,六六七	四〇三,三四三	四二四,七七四	
伊 太 利	二一五,〇〇〇	三〇三,九二二	三七九,九八七	四二六,七七五	三八五,一一四
日 本 (製鐵所)	一八九,四五二	二〇四,六三三	二三九,一六八	二四二,六七六	二九九,四六一
其 他	五三五,〇〇〇	五三五,〇〇〇	七四,三九〇,九七	七七,七九七,二〇〇	
合 計	六,四〇〇,一七一	六四,二八,四〇九	七四,三九〇,九七	七七,七九七,二〇〇	

世界ノ鋼鐵產出額

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
北 米 合 衆 國	三六,五二二,四三七	二四,〇五九,九八八	三二,七五二,三四四	三二,八三二,五五五	三三,一五三,〇三〇
獨 逸	一三,六九八,六三八	一五,〇一九,三三三	一七,三〇一,九九八	一八,九五八,八一九	一四,九七三,一〇六
英 吉 利	六,三七四,四八一	六,四六一,六二二	六,七九六,一四四	七,六六三,八七六	七,八三五,一一三
露 西 亞	三,四七九,〇〇〇	三,八七〇,〇〇〇	四,四九八,一九三	四,八二七,三四〇	
佛 蘭 西	三,五〇六,四九七	三,六八〇,六三三	四,〇七六,三三三	四,四二九,二四一	
奧 太 利、匈 牙 利	二,一八八,三七二	二,三六三,〇〇八	二,七八五,一〇五	二,六八二,六二九	二,七八五,一〇五
白 耳 義	一,四四九,五〇〇	一,三九三,六三〇	二,五五〇,四〇〇	一,一六八,九九三	
加 太 利	八三五,四七六	八八〇,二七六	八五三,〇三二	八四六,〇八五	
伊 太 利	六三五,〇〇〇	七三六,〇〇〇	八〇一,九〇七	八四六,〇八五	
瑞 典	四六八,六〇〇	四五六,五〇〇	五〇八,三〇〇	五九〇,八八七	五〇〇,六〇〇

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
西 班 牙	三三六,三〇一	三三三,九六一	三七八,八〇〇	三五五,一八〇	二八三,五二六
日 本 (製鐵所ヲ含ム)	一六七,九六七	一九一,七〇〇	二一九,七二四	三五四,九三三	
其 他	三三五,〇〇〇	三三五,〇〇〇	五三三,六八八		
合 計	五九,九四七,七三〇	五九,六五四,五七三	五三三,六八八		

世界ノ石炭產出額

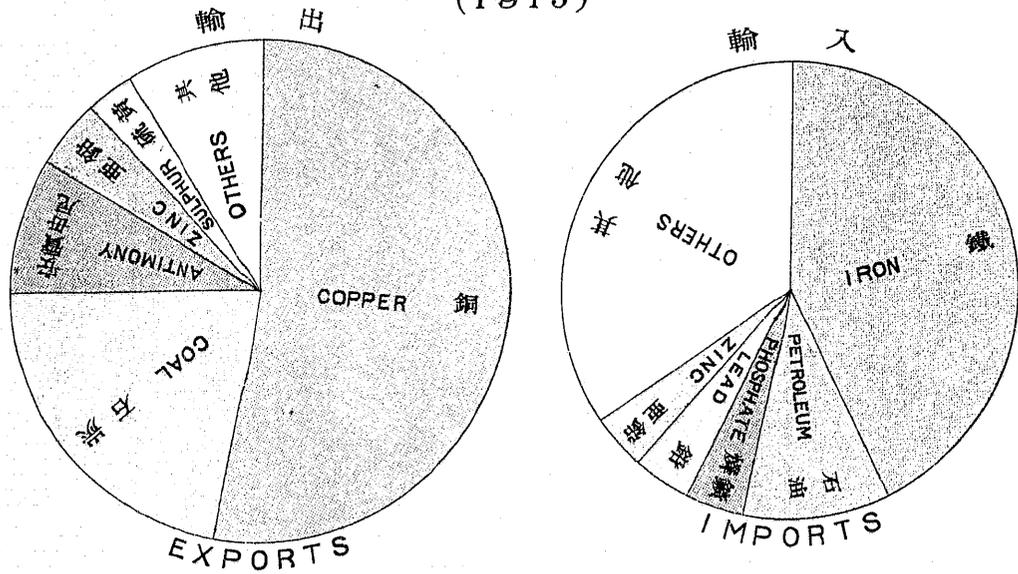
國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
北 米 合 衆 國	四四,五六一,六〇〇 <small>佛蘭</small>	四四,五七三,〇五〇 <small>佛蘭</small>	五三,四四六,六五八 <small>佛蘭</small>	五七,二八五,〇五〇 <small>佛蘭</small>	二七,〇〇七,〇四四
英 吉 利	二六,八六六,五三八	二七,六三三,六六〇	二五,七一一,三六〇	二九,〇四七,五五〇	二七,〇〇七,〇四四
獨 逸	三三,三七五,〇七六	三三,四三三,二五〇	三五,五八一,〇〇〇	一九,一五一,一五〇	一六,一五三,三三四
佛 蘭 西	四七,四三三,一〇九	四九,八五九,六五五	五三,五三一,七七六	五四,一二三,二七三	四一,四六〇,〇〇〇
露 西 亞	三六,三九九,九四三	三九,三九五,九二一	四一,三〇八,五六〇	四〇,〇五〇,八八八	三三,一三三,〇〇〇
日 本 (臺灣、朝鮮ヲ含ム)	三三,九一六,五五〇	三三,〇五三,五四〇	三三,九七三,七四〇	三三,八五六,〇〇〇	三三,一三三,〇〇〇
印 度	一五,九一二,九六五	一七,八八七,〇二一	一九,九三〇,一六八	二二,六三二,八八八	三三,八三三,二一〇
支 那	一三,三〇〇,七四四	一三,七五五,五四〇	一四,九五一,四四五	一四,九四六,九八五	一六,四七八,一四三
濠 洲 亞 利 亞	一三,一九〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇	一四,〇〇〇,〇〇〇	九,二九二,〇〇〇
南 亞 弗 利 加	八,三〇九,七三三	八,八三六,四六四	一〇,〇五〇,五七九	一〇,五八七,七三四	八,四四七,九三三
合 計	六,五〇八,三六三	七,〇四五,八〇五	七,三六五,七六〇	八,八〇一,二一六	

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
東 部 加 奈 太	六,五五四,九三〇	六,六〇三,〇〇〇	八,八〇一,二二六	七,二四二,四六六	六,六五九,五九九
西 部 加 奈 太	六,四四六,三三六	五,五〇〇,〇〇〇	六,六八四,一六二	六,三八一,三三二	六,五七七,二二七
其 他	一一,九四九,九三八	一三,七四六,三三四	一五,六五三,四一七	一四,三〇一,一〇三	八,六〇〇,〇〇〇
合 計	一,一五二,四七二,六〇四	一,一三三,〇八六,八四七	一,二九一,三二二,六八九	一,一三〇,七九六,三〇〇	

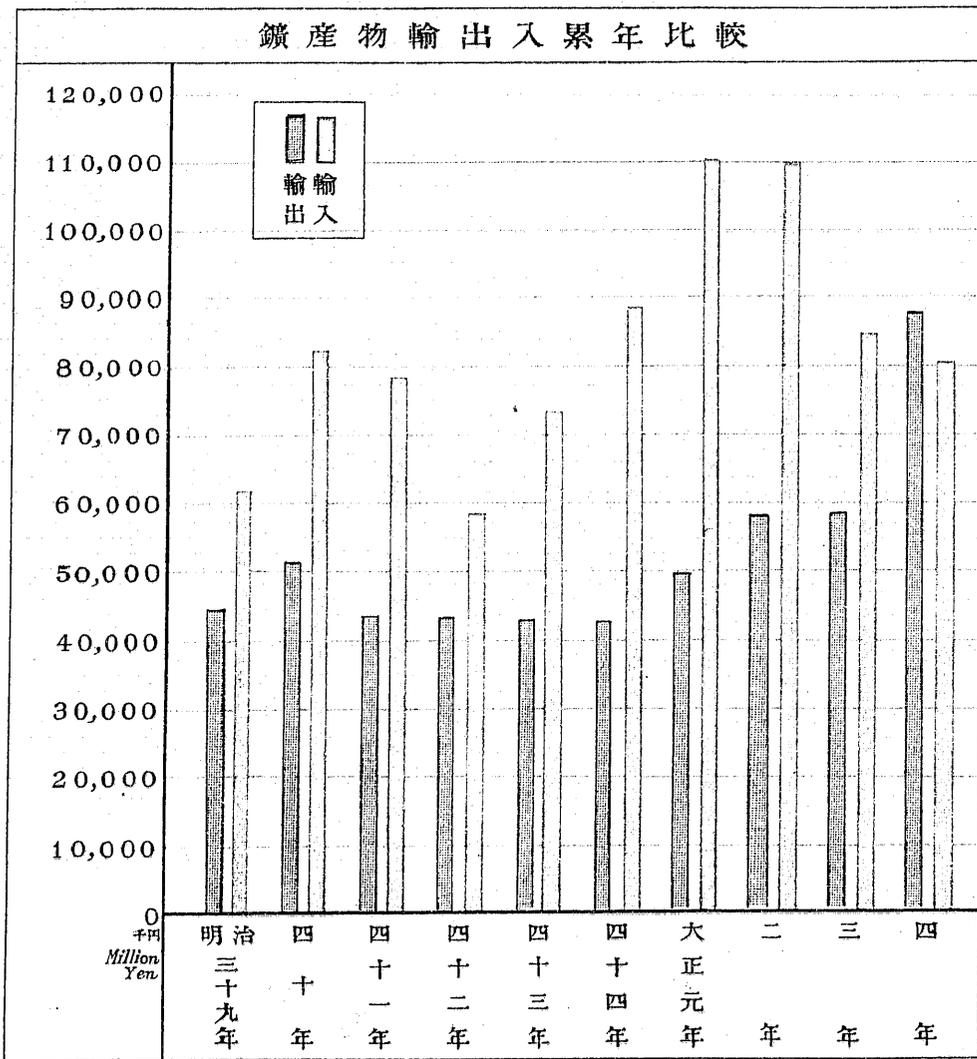
世界ノ石油產出額

國 別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
北 米 合 衆 國	二八,三三二,〇〇〇 <small>佛蘭</small>	二九,〇〇一,一〇〇 <small>佛蘭</small>	二九,九〇六,四一六 <small>佛蘭</small>	三三,一三六,一六四 <small>佛蘭</small>	三五,四三三,〇〇〇 <small>佛蘭</small>
露 西 亞	八,九三三,七三三	九,一六七,六〇〇	九,三九九,六〇〇	八,三七七,九四四	八,九三六,〇六九
墨 西 哥	五,四二四,〇〇〇	九,八二二,七七七	二,六四六,〇〇〇	三,四三三,六八八	二,八三五,一三三
蘭 領 東 印 度	一,七〇〇,〇〇〇	一,五四四,八四七	一,八〇六,九四三	一,八八五,三三三	一,七八三,九四七
日 本 (臺灣ヲ含ム)	八六三,六五五	九〇七,六八四	一,〇〇一,三二六	一,一〇七,三三三	一,〇六六,六六六
印 度	三,五〇四,一三五	二,四一四,八八八	三,三三三,七〇〇	二,五二八,六六六	三,七四三,三三三
其 他	七,六六四,八〇〇	七,五〇〇,〇〇〇	八,〇〇〇,〇〇〇	五,五七〇,三三三	六,八九七,四〇〇
合 計	四四,四八二,七三三	四四,七〇六,三三四	四八,三三八,二二三	五二,三五六,〇七二	五三,八〇九,七六八

大正四年  
(1915)

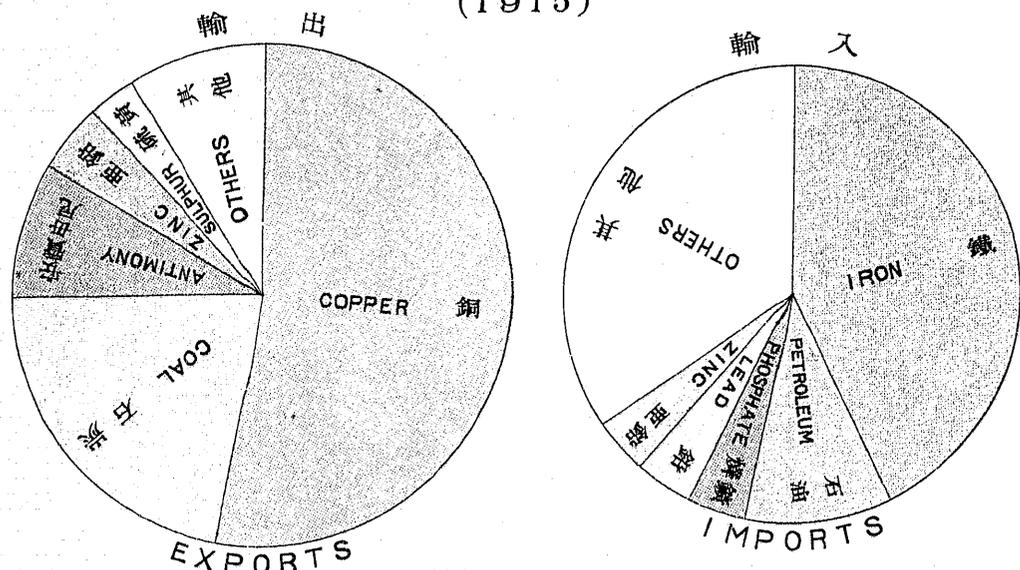


礦產物輸出入累年比較

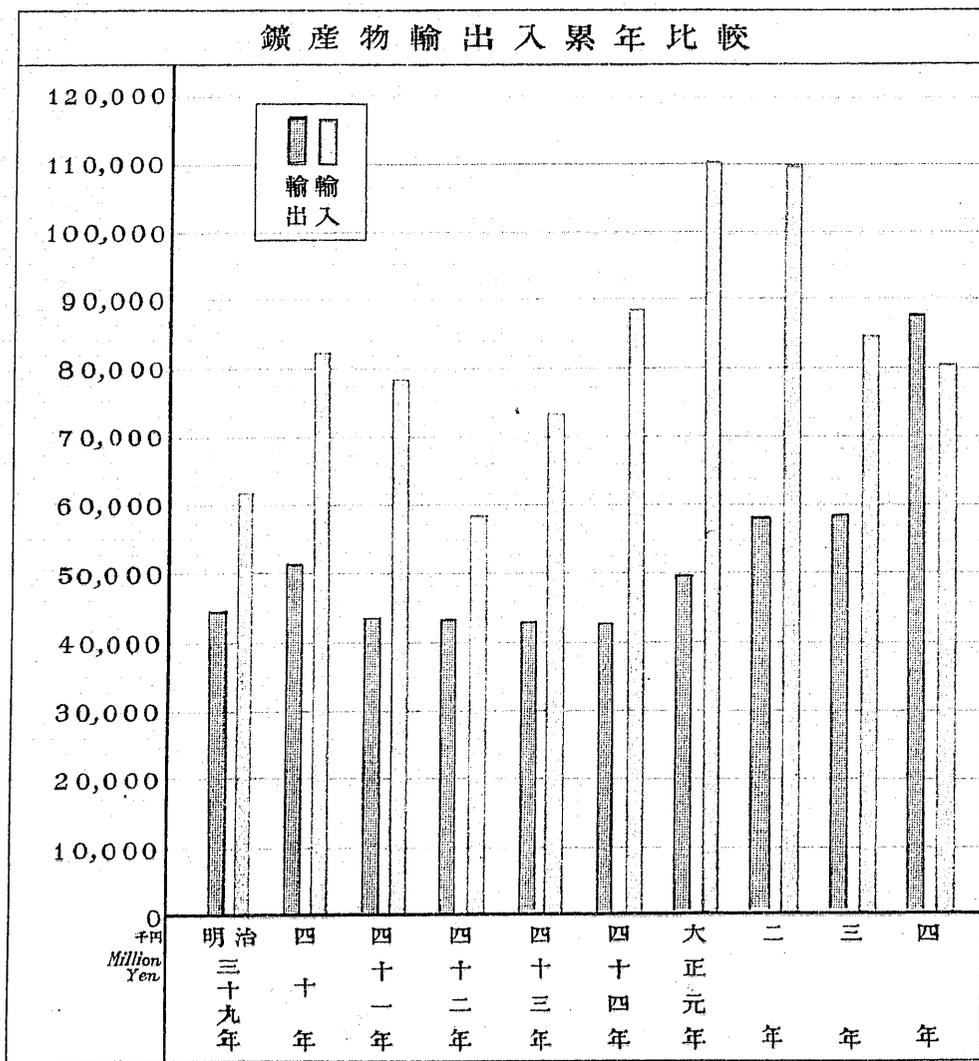


國別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
伊太利	430,360	424,671	357,547	349,603	
北美合衆國	359,699	246,300	308,530	326,633	
西班牙	30,113	40,663	43,344	62,633	
日本 (含臺灣)	46,093	51,064	56,009	62,768	53,333
日 本	15,976	15,856	14,979	10,561	
澳大利、匈牙利	7,366	7,076	7,447	6,591	
其他	76,977	75,629	76,856	83,026	
合計	769,977	775,629	766,856	830,026	

大正四年  
(1915)



礦產物輸出入累年比較



國別	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
伊太利	430,360	424,671	357,547	349,603	
北美合衆國	359,699	246,300	308,530	326,633	
西班牙	30,113	40,663	43,344	62,633	
日本 (含臺灣)	46,093	51,064	56,009	62,766	53,333
日 本	15,976	15,856	14,979	10,561	
澳大利、匈牙利	7,366	7,076	7,447	6,591	
其他	76,977	75,629	76,856	83,026	
合計	769,977	775,629	766,856	830,026	